

鴨川市大山支援村だより

【第2号】2011年4月15日発行

発行人・鴨川市大山支援村代表 小川直男（高蔵神社・大山不動尊総代長）

皆様から託された沢山の善意をしっかりと活かしてゆきます！

たくさんのご寄付をありがとうございました！

「おお、取りに来てくれヨ！」ご連絡いただくたびに、ありがたい気持ちで一杯になりながら、学校との間を軽トラで何度往復したことか。畳、布団、冷蔵庫、自転車、台所用品の数々、そして茶葉一袋に至るまで、託された物資ひとつひとつから「被災された方々の少しでも助けになれば」というあたたかい気持ちが伝わって来て、胸が熱くなりました。「役に立ちたい」との思いは誰もがひとつです。みなさまの真心のこもったご支援、しっかりと受け止めて役立たせていただきます。直接支援村まで物資を届けて下さった方々や支援金を頂戴しました方々も含めまして、本当にありがとうございました！（杉山春信・金東）



居室が整いました

事務局スタッフ2名が被災地を訪問しました

4月4日～6日、私と阿部文子（平塚）で被災地を訪問し、情報収集と大山支援村の説明を行って来ました。訪問地は宮城県気仙沼市（避難所での炊き出しに参加）、福島県飯舘村（村長と面談）、栃木県鹿沼市（原発周辺地域の方々が多く身を寄せる避難所を訪問）です。

気仙沼はもう言葉がありません。圧倒的な破壊力で海辺の街、集落が消えてしまいました。避難所には着の身着のまま命からがらで逃げて来た人々が、ぎゅうぎゅうづめで生活していました。支援村について説明しましたが、まだ先のことは何も考えられないといった状態でした。飯舘村で教えていただいた鹿沼市の避難所では、地震・津波・原発事故の三重苦に、もう帰るところがない人たちがいました。行政や地域リーダーの方たちの協力を得て、鴨川と支援村について説明会を開くことができました。「地震や津波ならまだしも原発だけはどうにもならない。新しい土地に行き、いちから始めるしかありません」と誰もが無念そうに語っていました。支援村では今後も鹿沼の避難所とは密に連絡を取り合って、避難されている方々の状況に合わせた対応をしていきたいです。（林良樹・釜沼）

4/11には飯舘村にも全村避難勧告が出ました。定住支援を含めた取り組みを、地域をあげて行っていきましょう！（事務局長 首藤）

活動報告 (3/28～4/14)

事務局、無休でオープン中

支援物資を活用して居室や台所を整えました。すぐに生活できる状態で準備ができています。市内外のボランティアの方々の協力を得ながら館内の掃除や物資の整理を随時行っています。事務局も無休でオープン。問合せへの対応や情報収集、関連団体や被災地との連絡等の業務を進めています。また具体的に避難先数カ所から個別のご相談を受けています。

今後の取り組み

いま被災各地では体育館に雑魚寝状態の緊急避難施設から、より落ち着いた環境の二次・三次避難所へと移動する時期を迎えています。私たち支援村は、そこを見すえて活動してきました。全国的な支援ネットワークや、つながりのできた先と密接に連絡を取り合いながら受け入れ準備を継続して進めて行きます。また定住を視野に入れている方々に対応できるよう、関係各方面と連携していきます。鴨川ほっこりツアー企画中です！つながりのできた避難所と連携して被災者の方々を2泊3日でご招待する企画を準備中です。支援村に滞在しながら鴨川を知っていただき、ゆっくり骨休めしていただくというツアーです。

運営資金のご支援大募集中！

支援村の活動は地域の皆様の善意と活力によって支えられています。ご支援をお願い申し上げます（経費のうち電気・水道・ガス料金は市に負担いただいています）

郵便振替口座 00190-0-710711

（加入者名）鴨川市大山支援村

鴨川市大山支援村事務局

事務局長 首藤武宏（佐野）

所在地 鴨川市金東2 旧大山小学校

TEL・FAX 04-7098-1425

E-MAIL info@hinansho.awanowa.jp

受付時間 9:00～12:00, 13:00～17:00

事務局ボランティアも随時募集中です！